Ⅲ 親愛南の里(令和4年度事業報告)

1. 事業報告の概要

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、生活介護・施設入所支援・短期入所の管理・運営を通して、 障害者が安全で豊かな暮らしを営むことができるよう、必要な施設サービスを提供する。また、施設・設備の経年 劣化に対応するため、収入の確保と支出のバランスを図りながら、必要な財源を確保する。

令和4年度の取組として、新型コロナウイルスなど各種感染症の感染予防対策の徹底と事業の継続性を確保するとともに、余暇活動等のメニューを工夫し、利用者支援の充実を図る。 また地域支援では、短期入所や日中一時支援を通じて在宅で暮らす障害者を積極的に受け入れ、障害者の地域生活を支える拠点施設としての機能を発揮する。 また施設整備では、老朽化が進んだ厨房用冷蔵機器の更新を行うほか、館内照明の LED 化を進め、居住環境の改善と電気代などランニングコストの低減を図る。

- (1) 施設入所支援事業 主に夜間や休日において、生活の場にふさわしい日常生活支援サービスを提供する。
- (2) 生活介護事業 障がい特性や利用者本人の意向をもとに、健康維持や生きがい支援につながる日中 活動支サービスを提供する。
- (3) 短期入所事業・日中一時支援事業 在宅で暮らす障がい者本人とその家族の暮らしを支えるため、短期的な施設支援サービスを提供する。

2. 令和 4 年度取り組み

(1)利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実 績				
ア きめ細やかな健康観察と医療的支援					
利用者の健康状態を表情・体温・食欲・排泄などから	日常的な検温や様子観察を通じて体調異変を早期				
把握し、職員間で情報共有と連携を徹底し、適切な	に発見し、早めの通院支援を行うことで異常の早期				
通院支援や服薬支援を提供する。	発見と重篤化防止に努めた。				
イ 支援の情報共有と改善					
ケアコラボ(支援記録作成・共有ツール)を活用し、	記録システム(ケアコラボ)を活用し、職員間の情報				
職員間の情報共有とデータ管理を進める。	共有に努めた。				
ウ 虐待防止・権利擁護					
(ア)権利擁護・虐待防止委員会を定例的に開催し、	(ア)権利擁護・虐待防止委員会を毎月開催し、権利				
支援方法の点検と身体拘束の妥当性を検証す	擁護に関する支援の現状と対応を協議した。また				
る。また、内外部研修により職員の人権意識向	全職員を対象としたビデオ研修を実施し、研修復				
上を図る。	命により研修効果を測定した。				
(イ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化	(イ) 配属初日に虐待防止・権利擁護研修を実施し、権				
の研修を実施する。	利擁護の重要性について理解を促した。				

エ 安全安心な食事の提供

季節の行事食や各利用者の希望を踏まえた誕生食を企画し、常食・ソフト食・刻み食など利用者の咀嚼・ 嚥下機能に合わせた食形態で提供する。 利用者の希望による誕生日食や、月1回のペースで特別メニュー(ごちそうの日)を設定し、利用者の食のニーズを踏まえた食事の提供を行った。また、利用者の摂食機能の低下に配慮し、安全性に加えて見た目にも工夫したソフト食や刻み食を提供した。

才 日中活動

買物外出や観光外出に加え、施設内でのスヌーズレン活動・散歩・体操・映画鑑賞など屋内外での活動メニューを準備して日中活動を支援する。

新型コロナによる自粛長期化を踏まえ、感染防止と 生活の質の両立が図られるよう、外出先の工夫や参 加グループの少人数化を行い、日中活動の正常化 に向けた工夫を行った。 また、納涼祭やクリスマス 会などの季節行事を各階で実施するなど、必要な感 染対策を講じながら取り組んだ。

(2)人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実 績
 ア 外部研修への参加 (ア)キャリアパスや育成課題を踏まえた業務上必要な研修を受講をオンライン研修なども活用しながら効果的に実施する。 (イ)「強度行動障害支援者養成研修」未受講者を受講させる。 	(ア)オンライン研修を中心とした外部機関研修に延47人が参加した。(イ)新採・異動職員5名に強度行動障害養成研修を受講させ、行動障害の理解と知識促進を図った。
イ 内部研修への参加 新任職員への OJT や内部研修により、障害特性と 高齢化に伴う支援へのスキルを高める。	新規配属職員3名に対し、職員に求められる基本 的知識・技能が習得できるようOJT研修を実施した。

(3)施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績		
ア 施設の老朽化対策 (ア) 1 階照明 LED 化工事(第1期)	事業計画に基づく1 階 LED 照明の交換工事を実施		
()	した。(3月)		
イ 設備・備品の修理・更新			
(ア) 厨房用冷凍・冷蔵庫更新	事業計画に基づく設備の更新を行った。(4 月)		
(イ) 食堂冷凍ストッカー更新			

(4)危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実 績				
ア 感染症対策					
(ア) 日々の健康チェックと感染防止対策の徹底	(ア) 利用者の体調不良の早期発見や速やかな通院				
	支援を図るとともに、感染状況に応じて外出先の				
	検討や活動内容の工夫を行った。				
(イ) 流行状況にあわせた外出先や活動内容の変更 	(イ) 令和 4 年度の施設内感染は、新型コロナとインフ				
	ルエンザとも各 1 件に抑えることができた。				
イ 防災・防犯対策					
(ア)年4回の防災訓練を実施、うち1回は消防署の立	(ア) 5・9・1・3 月に避難訓練を実施した。 5 月は高階				
会い指導による防災訓練を行う。	分署の立会いで総合防災訓練を実施した。				
(イ)地元自治会役員の防災訓練参加を依頼する。	(イ) 地元下赤坂自治会長の訓練参加については、日				
	程が整わずに参加に至らなかった。				
ウ 業務継続計画(BCP)の策定					
令和3年度報酬改定に伴い、感染症や災害時の業	法人による BCP 策定委員会を立ち上げ、令和 4 年				
務継続計画(BCP)の策定が義務化(令和5年度末	度は感染症に関する BCP 策定を行った。				
まで)されたため、策定準備を進める。					
エ 安全運転管理					
(ア)経年劣化が著しい車両を計画的に入れ替える。	車検を迎えるセレナを3月に更新(リース)した。				
(イ) 車両点検、運行表の記入、安全運転を励行する。	また、道交法改正に合わせ、運転前後のアルコール				
(ウ) 運転者の酒気帯びの有無の確認を徹底する。	チェックの実施を徹底した。				

(5)その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績				
 ア 地域社会との共生 (ア)短期入所や日中一時支援を通じて、障害者福祉の拠点施設機能を果たす。 (イ)実習生を受け入れるとともに、広く中高年層やパート労働者を積極的に活用することにより、福祉人材の確保と障がい福祉の啓発を図る。 	 (ア)新型コロナ流行による影響もあったが、地域のニーズに応えられるよう受入れを進めた。短期入所受入延日数 933 日(R3 比 422 日増) (イ)実習生の受入れについても、感染による実習期間の延長について柔軟に対応した。 				
イ 情報発信 ホームページを活用し施設の情報を広く発信する。	法人 HP の更新に際して施設紹介文の見直しを行ったほか、南の里の様子を知らせる「親愛会事業所日誌」のブログを5回更新した。				

■ 親愛南の里 (令和4年度事業報告 資料)

令和 5年 3月31日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分		入所		通所		
又饭色刀	男	女	計	男	女	計
区分 6	19	6	25	2	0	2
区分 5	4	8	12	0	0	0
区分 4	0	2	2	0	0	0
区分 3	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	0	0	0
区分 1	0	0	0	0	0	0
合計	23	16	39	2	0	2

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20 歳 未満	20 歳以上 ~ 30歳未満	30 歳以上 ~ 40歳未満	40 歳以 上 ~ 50 歳未満	50 歳以上 ~ 60歳未満	60歳以上	平均(歳)
	男	0	0	3	3	10	7	55.3
(入所)	女	0	0	0	3	4	9	65.1
	計	0	0	3	6	14	16	58.9
	男	0	0	0	0	0	2	68.5
(通所)	女	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	2	68.5

(3)通院・入院状況 (回)

※訪問歯科受入 11 回

	:	精 神 科	内 科	外 科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整 形 外 科	婦人科	歯科	その他	計
入所	4	5	47	37	4	0	11	26	2	260	38	470
	(-	-5)	(-36)	(+17)	(+2)		(+3)	(+2)	(+2)	(+6)	(-9)	(-34)
通所	(0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	件	1	3	8	0	0	0	3	0	0	0	15
入院	1+		(-4)	(0)				(+2)	(-1)			(-2)
八阮	日	38	118	450	0	0	0	167	0	0	0	773
			(-62)	(+313)				(+142)	(-3)			(+428)

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	36.7	91.7
生活介護	40	36.9	92.2
短期入所	10	2.6	25.6
日中一時支援	_	38 人(延人数)	_

(2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味(茶道・コーラス)	0	その他(理美容・施設体験ボラ)	18
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(畑ボラ)	8	合 計	26

(3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	7	17	204